

人口減少時代の地域づくりと中間支援

－ “ひとが生きる” からのアプローチ

高崎経済大学 櫻井 常矢

1. 地域運営組織 (Region Management Organization) の基本的考え方

担い手不足 負担感

基礎的地域団体、自治会の現実 自己完結することの限界

連携・協働へ 横のつながり 地域のくらしをめぐる課題解決

多様な参加の “仕組み” として

近年の地域施策の特徴 組織化・重層化

2. 中間支援機能の新たな展開

(1) プロセスとしての地域づくり

【 】 → 【 】 → 事業活動 → ふり返り

目的化する事業活動

ひとづくりはプロセス

(2) 中間支援機能の展開 — 個別団体支援と地域自治支援 —

地域課題の顕在化・共有化

一人のつぶやきを地域の課題へ

アウトリーチ 地域円卓会議 イシューレイジング

多様な人びとの参加

話し合い支援 当事者意識

3. “ひとを活かす”アプローチ

- 新たな人材に会う・つながること

担い手とは？

団体所属 地域役員 世帯単位

社会教育法（第2条）「組織的な教育活動」

団体主義の地域づくり

⇒ ひと（個人）へのアプローチ手法

- 「脱組織化」を俯瞰する

自治会加入率の低下、地域団体の低迷・解散・・・ その一方で

既存団体の「型」とのズレ

⇒ 社会参加形態の変化

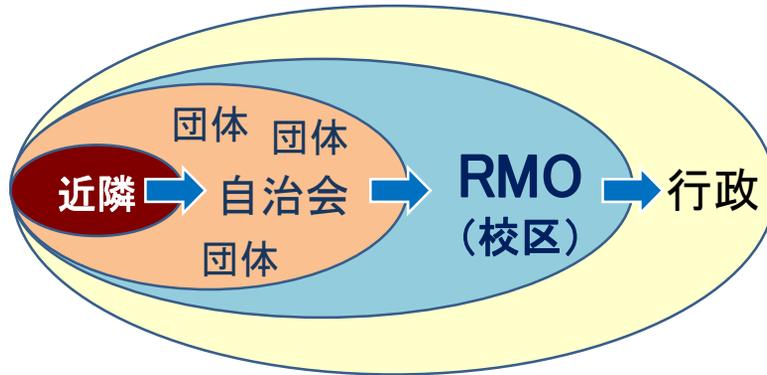
団体支援の再構築

* 婦人会等の解散理由

地域運営組織の基本的考え方

狭域自治と広域自治

関係



中間支援機能の新たな展開

